



# 三沢小だより



児童数 29名

学校教育目標  
目指す学校像

『かしこく なかよく たくましく』  
『みなぎる元気、さわやかな笑顔  
わかる楽しさのある地域の学校』

令和4年12月23日10号 皆野町立三沢小学校

TEL 0494-65-0123

FAX 0494-64-0339

[http://www.town.minano.saitama.jp/es\\_misawa](http://www.town.minano.saitama.jp/es_misawa)

## 「行く年、来る年」

校長 吉田 浩

令和4年もいよいよ残すところ一週間となり、本日無事、2学期終業式を迎えることができました。今年もコロナ禍が続き、振り回された一年でしたが、少しずつ社会も学校もこの環境に対応し、中止していた学習や行事もできるようになり「できない」事を嘆くより「いかに工夫し実行するか」といったスタンスで物事を考えることが増えてきました。ポジティブな思考が増えてきて少しずつ希望も見えてきているところです。三沢小でも、児童会を中心としたABCプロジェクトや、運動会、収穫祭、バザー等、人とふれあう行事も多く実施することができ、「人のシャワー」の中で子供たちを育てることができています。



さて、今年はサッカーワールドカップでの日本代表の活躍もありました。強豪国に臆することなく、世界と渡り合う日本代表選手の姿を見ると、三沢小の子供たちもこんな風にかくましく育て欲しいという思いを強く持ちました。その大会中のグループリーグ第3戦のスペイン戦の決勝点となった、三苦選手のアシストしたボールが、ゴールラインを超えているのではないかという事案がありました。以前だったらアウトだけれども、今はVARという最新の技術で判定し、1mmラインにかかっていたと言うことで、ゴールが認められました。スポーツの世界でもこのように時代の流れで、ICT機器によって判定することが増えてきているようです。時代の流れと言えば、授業でもタブレットでの学習は普通となり、文房具や図鑑、辞書の代わりとして毎日使用されています。

また、1ミリと言えば、最近「そんな気持ちは1ミリもないよ。」など、長さや量の単位として使われる物が、心の様子を表す単位として使われることもあります。「不易流行」（いつまでも変化しない本質的な物を忘れない中にも、新しく変化を重ねている物を取り入れていくこと）と言うように、時代の移り変わりによって言葉の使われ方も含め「変化」していく物もあれば、「物事の根本」として生活や心の中で変わらず大切にされ残っていく物事もあります。



学校の区切りは3月になりますが、世の中の流れでは12月が一区切りとなります。新しい年を迎えますが、「子供たちの成長を期待し、成長を喜ぶこと」はいつの時代でも「不易」で変わりません。これからも三沢小ならではの教育で、三沢小らしい子供たちの育成を目指し、職員一丸となって頑張っていきます。来たる2023年度は、三沢小学校開校150周年の記念すべき年でもあります。「行く年」のご協力に感謝するとともに「来る年」も引き続きご支援をよろしくお願いいたします。





# 1月 主な行事予定

5日～9日	制服採寸会(矢尾百貨店)	21日(土)	秩父地区書き初め展覧会 (長瀬第一小学校)
9日(月)	成人の日	22日(日)	
10日(火)	始業式 登校指導 一斉下校 11:00	23日(月)	校内書き初め展(27日まで)
11日(水)	競書会 給食開始 一斉下校 13:30	24日(火)	ロング昼休み、食育授業
12日(木)	発育測定(全学年)、わくわくタイム 避難訓練	25日(水)	クラブ
13日(金)	1・2年外国語活動	26日(木)	わくわくタイム(給食感謝の会)
16日(月)	さわやかセブン	27日(金)	令和5年度入学児童一日入学
17日(火)	ロング昼休み	31日(火)	ロング昼休み
18日(水)	読み聞かせ(スマイル)、委員会		
19日(木)	朝清掃、わくわくタイム		



12月8日(木)  
人権の花の取組

12月8日(木)人権教室

皆野町教育委員会の黒須文夫先生の人権講話では、人を思いやる気持ちの大切さや、一歩進んで「障害を持つ人はかわいそう」ではなく、障害を持つ人がいるのが当たり前という社会をみんなでつくっていこうという力強いメッセージをいただきました。

11月29日(火)更生保護女性会の高橋会長より、そうきを寄付していただきました。年末の大掃除で大活躍していました。ありがとうございました。

11月29日(火)ペース走大会  
毎日コツコツ努力して、最初に比べ、自分の記録を大きく伸ばしました!

